

CASE対応に向けた 自動車部品サプライヤーの知財戦略

2023年10月18日

弁理士法人

HARA**K**ENZO

WORLD PATENT & TRADEMARK

弁理士 竹野 直之

目次

1. 知的財産権に関する基礎知識

- 知的財産権の種類
- 産業財産権の例

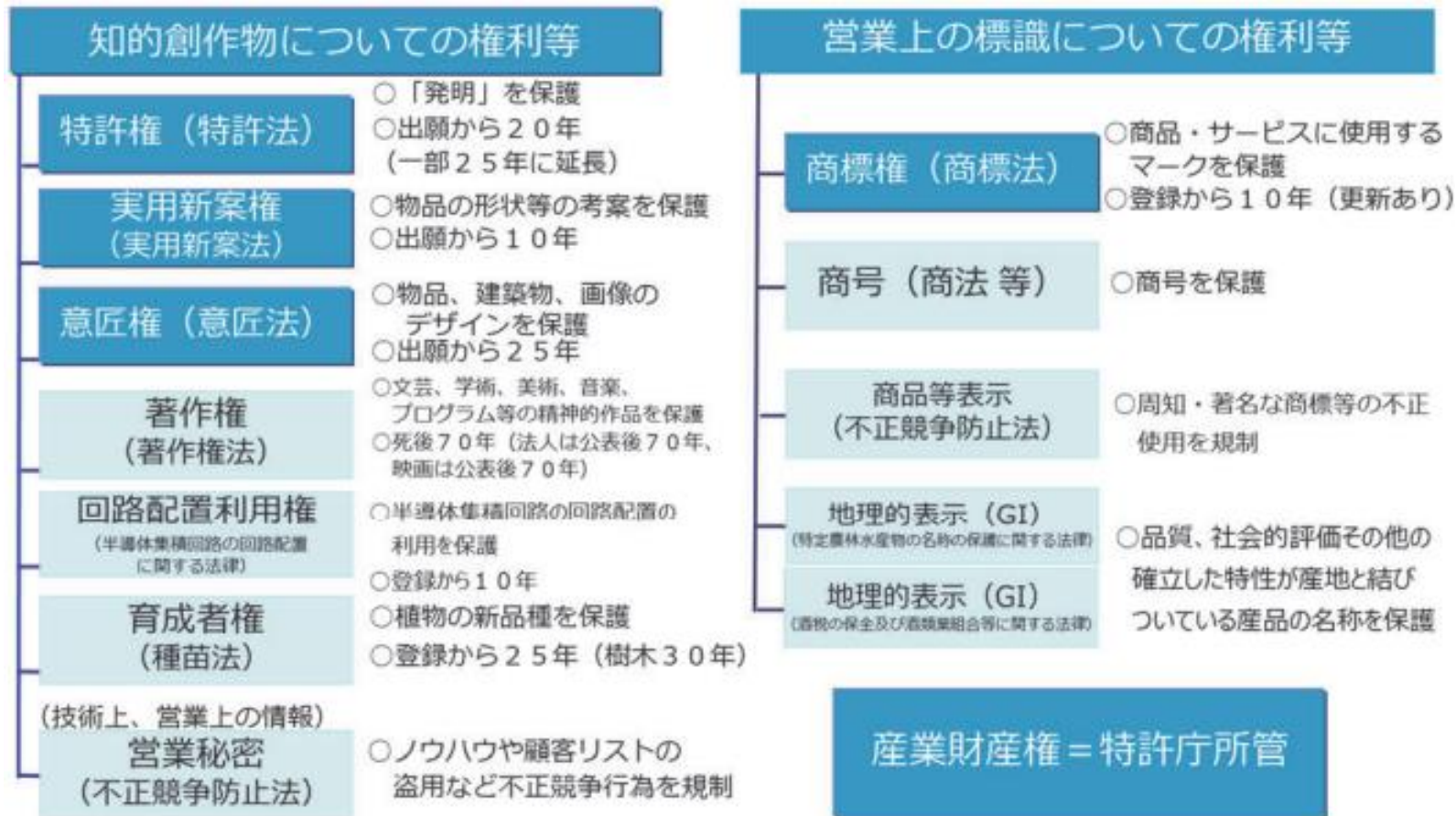
2. 自動車部品サプライヤーのDX特許事例

3. 知的財産権を活用した新規事業の創出

- はじめに
- サプライヤーのCASE特許事例1(自社目線)
- メーカーのCASE特許事例
- サプライヤーのCASE特許事例2(メーカー目線)

1. 知的財産権に関する基礎知識

知的財産権の種類



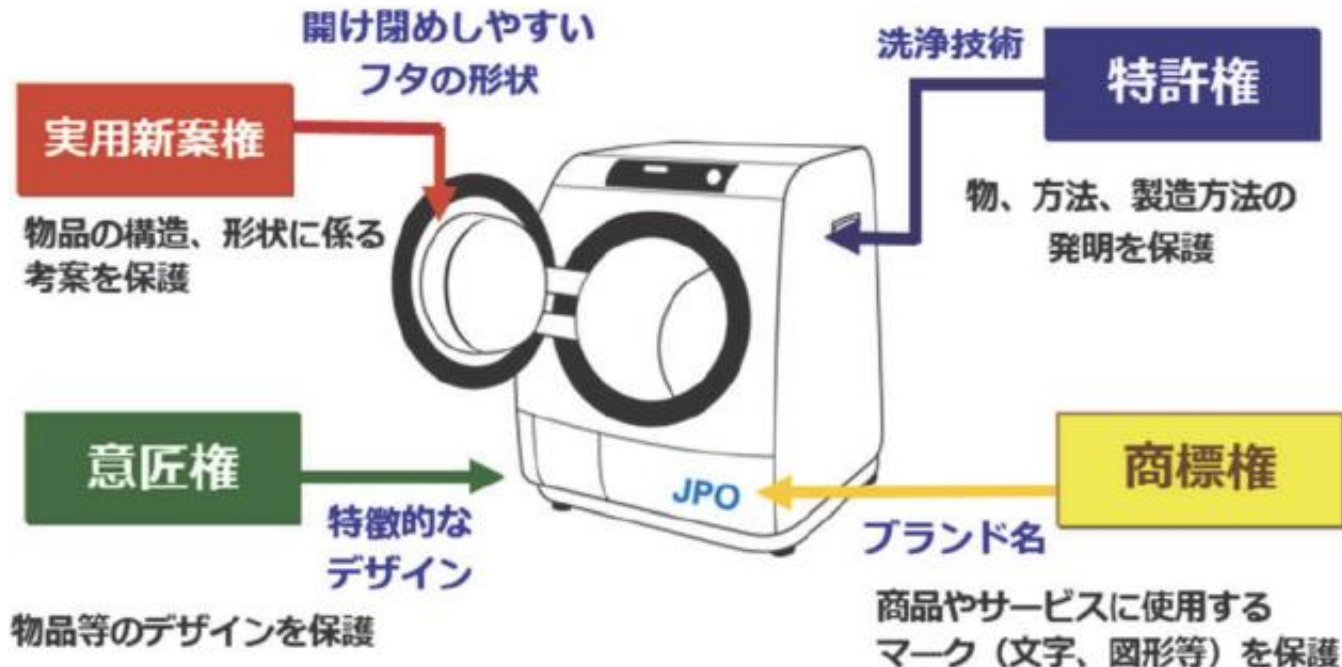
1. 知的財産権に関する基礎知識



産業財産権の例

産業財産権

✓ 知的財産権のうち、特許権、実用新案権、意匠権、商標権の4つ



2. 自動車部品サプライヤーのDX特許事例

- ✓ 「**人には付加価値の高い仕事を**」を合言葉に、機械・システムができる仕事は機械・システムに任せ、社員は人にしかできない創造的な仕事を行うことを業務改善活動の基本方針に据える。
- ✓ それまで業務改善活動に必要なデータを社員が収集していたが、この収集活動を**IoT技術を使って自動**で行う。
- ✓ 2015年から2018年にかけて、100の製造ラインで**平均43%**、最も改善効果が高かったラインで**280%**の生産性向上を実現。
- ✓ 製造ラインの生産性向上により、残業・休日出勤の低減を実現。2021年は2015年と比べて労働時間が**年間4万時間低減**。労務費も**年間4億円以上削減**。